



**長 崎 県**  
中小企業家同友会

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp  
U R L https://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

## 「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく」 ～同友会の学びで時代の変化をチャンスに!～

### 島原支部設立 10周年記念講演会 祝賀会 開催報告

日時：11月28日(木) 18:00～21:30 会場：HOTELシーサイド島原

講演テーマ：M&Aを活用して企業を成長発展させよう～中小企業のM&A事例と後継者問題の解決～

報告者：(株)ホワイトクロス 代表取締役 島田 健作 氏



島原支部設立10周年記念講演会・祝賀会は、島原市長、南島原市長、雲仙市副市長、島原商工会議所会頭、金井代表理事、県内の各支部長や会員、ゲストを合わせ100名を超える参加者のもと、盛大に開催されました。

まず、冒頭のあいさつで荒木支部長より、10周年を迎えるにあたり、支部設立にご尽力いただいたチャーターメンバーと関係各位への感謝の言葉をいただきました。

記念講演会は、大阪よりM&Aアドバイザー業務を行う(株)ホワイトクロスの島田健作氏を招いてご講演いただきました。現在行われているM&Aは大企

業が報道等でよく取り上げられていますが、実際には7割から8割が中小零細企業で行われています。全国では後継者がいない企業が約70万社、子供はいても後継者にならない企業が140万社あるといわれています。事業承継が上手くできなく、会社を廃業するにもお金が必要なことと会社に勤めている社員の再就職も考えなくてははいけません。そういった後継者問題を抱える会社が存続するためのM&Aが行われています。島田氏が実際に行われたM&Aについて4つの事例で詳しくお話いただきました。

質疑応答では島原支部の会員でM&Aを近年行われ

## 目次

島原支部設立10周年記念講演会 祝賀会 開催報告	1	ダイバーシティ委員会第13回例会 参加報告	16
各界からの提言	3	佐世保支部 経営指針策定セミナー 開催報告	17
11月例会報告	4	事務局企業訪問	18
社員教育活動全国研修・交流会 in 岡山 参加報告	10	会員活躍	19
第26回 中同協 青年部連絡会・宮崎同友会青年部設立総会 参加報告	11	新入会員紹介	19
長崎県における中小企業振興に向けた産業労働部との意見交換会 開催報告	13	理事会報告	20
SDGs 勉強会 開催報告	14	会員動向・会員数	21
社長と〇〇シリーズ「社長と飯」開催報告	15	1月例会案内	22
第2回 新入社員フォローアップ研修 参加報告	15		



た発表もありました。企業価値を上げることにより、もし自社が後継者問題に直面した時にはM&Aで売ることができます。それは社長の仕事であり社員の将来にも繋がって行きます。

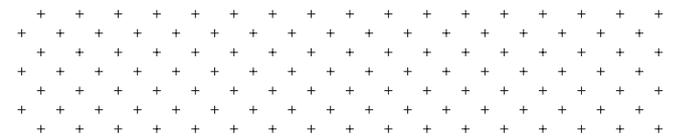
祝賀会では落水相談役（初代島原支部長）の挨拶で、島原支部設立からの思い出の話しをされました。祝賀会の中では池田副支部長作成の10年間の映像がスクリーンで流されました。

最後はチャーターメンバー12名が紹介され三田相談役が島原支部設立時の熱い思いを話され、山田事務

局長が万歳三唱を行いました。

島原支部は次の20周年に向けて新たな挑戦を行い、会員間で発展する活動を積み重ねていきたいと思っています。

（文責 内島 範喜）



## 書籍の紹介

購入を希望される場合は、同友会事務局(095-822-0680)までご連絡をお願いします。



### 小さな会社の「最強経営」 ～経営指針をつくり、実践し、未来をひらく～

清丸恵三郎 著 プレジデント社 価格：1,600円＋税

2018～19年にかけて1年間、プレジデント誌に掲載された人気連載『実践！会社を良くする社長学～4万7000社が集結「中小企業家同友会」パワーの源』が待望の書籍化！連載に著者の加筆原稿を加えた決定版です。ぜひご一読ください。

# 各界からの提言

ミライ on 図書館長・長崎県立長崎図書館長 渡邊 斉志



## プロフィール

東京都生まれ。北海道大学を卒業後、国立国会図書館に入館し、国会議員向けの立法調査サービス業務などに従事。2008年から2年間、石狩市（北海道）に出向し、石狩市民図書館長。2019年4月から長崎県に出向し、現在、長崎県立長崎図書館長・ミライ on 図書館長。

令和元年10月5日、ミライ on 図書館が大村市に開館しました。ミライ on 図書館は、長崎県立長崎図書館と大村市立図書館の一体型図書館で、長崎県と大村市が共同で運営に当たっています。県立図書館という面も持っている図書館ですので、大村市民以外の方も利用することができます。

ほとんどの方は、「図書館＝本を借りる施設（本を読む施設）」というイメージを抱いていることと思います。実際、多くの方は、本を借りたり読んだりするために図書館を利用しています。一方、仕事上の情報が必要になったときは、人づてやインターネットで情報を得るのが一般的でしょう。最も有益な情報は「人」から得られるものですし、インターネットで調べることによって時間をかけずに情報を得ることができるからです。

そのため、情報収集に文献を用いようとする人は少数派でしょう。身近にある図書館が小規模で、「図書館で仕事に役立つ情報を得られるとは思えない」という印象をお持ちの方も多いと思います。

しかし、図書館が持っているリソースは、仕事をする中で直面した「困りごと」を乗り越えるのに役立つこともできます。人手をかけて編集された文献には、インターネットを通じて

無料で入手できるものよりも付加価値が高い情報が含まれており、人脈やインターネットで得られる情報に加えて文献も活用することで、入手できる情報を何割か上乗せすることができるからです。例えば、企業が外国人を雇用する場合には、各種制度を理解することだけでなく、外国人を雇用した人の体験談（成功事例や失敗事例）に目を通しておくことも有用でしょうし、雇用される人の母国の文化や風習を理解することなども、その後の企業経営をスムーズにさせる上で役立つでしょう。

実は、長崎県立長崎図書館では、市町立図書館に対する文献の貸出しを積極的に行っており、県内にお住まいの方は、最寄りの図書館で県立図書館の蔵書を取り寄せることができます。これは、県内どこに住んでいても県立図書館の蔵書を利用していただけるように、市町立図書館の協力を得て行っているサービスです。

ですから、仕事の中で「困りごと」に直面した際、もし何日か時間に余裕があるならば、人づてやインターネットでの情報収集と併せて、最寄りの図書館で文献探しの相談をしてみたいかがでしょうか。訓練を受けた図書館職員の方がいれば、きっと相談に乗ってくれるはずです。

## 長崎浦上支部 例会報告

日 時	11月25日(月) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	苦勞したからこそわかる経営指針の大切さ ～経営指針がもたらすスムーズな事業承継～
報 告 者	(有)京弥 代表取締役社長 齊藤 誠史 会員



「お前は会社を継ぐのか継がないのか？」先代の父から問われたのは、大学4年生の時、そのころの夢であった建築会社就職のための大学の担当教授との最終面談日の前日でした。

迷った挙句家業を継ぐ決心…それが間違いの始まりだったようです。いざ事業を継いで

みると問題は山積みでした。売り上げの低迷、借入過多、会社や業界の今後の見通し不明瞭、個人の金と会社の金のどんぶり勘定、残業の常態化等々。家業を継いだ自分に対し先代は将来へ続くルールを敷いてくれるものと思っていたが、全くその気がなく、また「やるしかない」の精神論しかなく会社のビジョン等を先代と共有することはありませんでした。

そこで自分で真剣に事業承継に取り組むこととなりました。その際大きな役割を果たしたのが同友会の経営指針策定セミナーで得た知識・経験でした。自社の経営理念の策定、10年ビジョンの策定等自身でわが社の方向性を決めることとなりました。

齊藤さん曰く「事業承継は何のためにするのか？」「誰に何を残したいのか？」をよく考えることが大事



です。その他事業承継に必要な知識として相続税のこと、自社株評価、個人からの借入金の処理等についての具体例、社員の残業をなくすための変形労働時間制の導入等の話もありました。通常、事業承継は親子のバトンタッチとって思っていました。が齊藤さんのケースはバトンが見えないままでの承継のような気がします。それだけご苦勞が多かったのではないかと思います。事業承継は避けて通れない問題です。大いに参考になりました。

グループディスカッションでは「何のために、何を残すために、事業承継をしますか？」をテーマとしてディスカッションを行いました。

(文書 山口 芳和)

## 長崎出島支部 例会報告

日 時	11月26日(火) 18:00～20:30
会 場	ホテルニュー長崎
テ ー マ	誰でもできる影響力！
報 告 者	(株)マツモト 代表取締役 松本 一孝 会員 (長崎浦上支部)

今回の例会では、自社での日々の経営の中に、どのように同友会で学んだ共育の理論を活かしているのかについて県共育委員長の松本さんから実践報告していただきました。

まず、私たちの日常の発言や行動の中には、相手



にプラスの影響を与えるものもあれば、逆にマイナスの影響を与えるものがあることや、シックスヒューマンニーズを通じて、人材を育てていく上での基本となる考え方を学びました。そして、入社当時は思うように働けなかった社員が、今では周囲からも認められるような成長を遂げたという松本さんが実際に自社で



経験したエピソードを共有していただき、会場からは感嘆の声が上がりました。

報告の最後には、相手を認めることで皆がハッピーになるという趣旨の動画を鑑賞し、心がとても温くなる思いがしました。そして「また明日から社員と共に成長していこう！」と皆で決意し合えるととても良い報告を聞くことができました。

その後、「今日の報告を聞いて最初にする行動は何か？」とのテーマでディスカッションを行いました。皆、今日の報告内容を踏まえ、自身の日々の行動を振り返りつつ、どうすれば社員や家族とより良い関係性を築いていけるのか？と、奥の深いディスカッションを行



いました。参加者からは、「まずは、大切な家族や社員に愛を伝える」などの素晴らしい意見が出ました。

今回の報告とディスカッションを通じ、身近な人にこそ感謝の気持ちや大切に思う気持ち伝えきれていないことや、敬意を持って礼儀正しく接することを忘れてしまっているという、いわば、人間同士のコミュニケーションにおける盲点に気付くことができ、例会は大変有意義なものだったと感じています。

今回の例会で学んだことを早速実践し、今後とも社員や家族と共に育ってまいります。

(文責 山崎 貴彦)

## 大村支部 例会報告

日 時	11月21日(木) 18:30～21:00
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	官×民×創×論(カンミンソウロン)2019 ～大村市長とこれからの大村を語る～
報 告 者	大村市長 園田 裕史 氏 大村市中小企業振興会議 情報部会長 中島 文雄 氏 人材部会長 時 忠之 会員 (株)大幸企画 代表取締役 コーディネーター 長崎大学経済学部 准教授 山口 純哉 氏



改選ということもあり11月の例会での企画となった。

冒頭、市長よりこれからの中小企業振興施策、新幹線含むまちづくりの進捗にこれから期待できる商工振興のチャンスについて説明があった。特に強く印象に残ったものとして「私達はあらゆる種を蒔きます。中小企業家の皆さんはそれにしっかりと花を咲かせていただきたい。そのための支援もしっかりとやっていきます」の発言をいただくことができた。その後、市長マニフェストを基軸とした商工振興施策に特化したパネルディスカッションを展開した。流れとしては両部会長よりマニフェストについての疑問、質問さらには、こうしたら良いと思うが市長はどう思うか？など市民目線、地元中小企業家目線での質問、意見が飛び交った。

さらにはグループディスカッションテーマを私達が必要とする施策を市長へ提案することとし、グループ



大村市長をお招きし、大村支部では恒例で本年4回目を数える「官×民×創×論」。本年は10月が市長



を共同求人やダイバーシティ、共育、経営労働委員会別とし、それぞれの立場、取り組みに特化した提案をまとめあげ、それらを市長へダイレクトに発信する手

法を取った。地元中小企業家のリアルな声を届けることができ、また市長からもありがたいとの言葉をいただけた。

政策委員会の担いである「地域と共に歩む中小企業として、行政に対し政策提言を積極的に行う」について、その目的を果たすことができた。またそれらが将来、市の施策として実現をし、良い経営環境の創造に繋げていきたい。大村支部ではこの「官×民×創×論」を継続し、行政と共に中小企業発展に向け歩んでいきたい。そう感じた例会であった。

(文責 指方 宏彰)

## 諫早支部 例会報告

日 時	11月22日(金) 18:30～21:00
会 場	ロイヤルベルズ諫早
テ ー マ	日本一新鮮で美味しい魚を提供するために ～らしくない漁師の同友会での学び～
報 告 者	福栄丸 代表者 渡 慎吾 会員 (五島支部)



渡さんの報告は、漁師らしくない考え方、漁師らしくない見た目、漁師らしくない経営への思いと、中学生時代の悲しみと苦しみの思いの中での歩みを交えたものでした。

学生時代の希望する職業は、医師だったそうです。しかしながら父親から進学させる余裕が無いと言われ、貧困の悔しい思いの中で高校を卒業し、卒業後は家業の漁師を継ぎます。創業者の祖父、父と漁に出ていた2001年、22才で経理担当となり売上金の全てが消費され手元に何も残っていない経営状態を知り、このままでは廃業するかもしれないと思い、問題解決を進めます。運転資金確保のために水揚げ金の一部を天引きしていきますが、父の理解が得られず、周りの社員さんとの関係性など一人で改善していくのが辛い時期もあったようですが10年後、20年後のビ

ジョンを思い描き乗り越えてこられたようです。

そんな時、人の心は「理屈ではなく気持ちを伝える」ということが大切であることに気づかれ、数年かかっても気持ちを伝えていくことを実践されたそうです。学生時代の悔しい想いと、漁師で日本一になるんだという思いが力の源であり、心の支えだそうです。経営理念をもって収入を増やすために商品の差別化、魚の締め方や締めた後のうまみ成分などの分析を研究所と一緒に研究し、それを数値化するという漁師らしくない考え方を実践されて商品価値を高め、魚そのものの単価を上げて収益を上げているそうです。漁師となって23年、目標と目的をしっかりと持って経営されていると思いました。

また、企業変革支援プログラムで自己診断し、強み弱みを把握しステップアップされている所や、経営理念や経営計画をつくり、実践し社員さんと共有しながら日本一美味しい魚を提供し、誰もが幸せになることを願っていること。ブレない思い、常識にとらわれない考え方の先に道はあること。漁師らしくない漁師さんの経営哲学、他の業種でも通じるということを実感させていただきました。

(文責 鐘ヶ江 秀美)

## 佐世保支部 例会報告

日 時	11月22日(金) 18:30～21:30
会 場	グランドファーストイン佐世保
テ ー マ	経営指針で見てきた我社の未来像 ～みんなに背中を押されて気づいた次のステップ～
報 告 者	(株)恵比寿組 代表取締役 谷 信一郎 会員 (大村支部)



今回は大村支部より報告者として(株)恵比寿組の谷さん、座長として県経営労働委員長のチェンジコンサルティング(同)の宇土さんにそれぞれ来ていただきました。

2年前に新しく「経営指針 成文化と実践の手引き」が発行されました。その本を実際に使用して長崎同友会で初めて経営指針書を作成した会員が谷さんです

谷さんは2001年に独立し、恵比寿組を創業。その後しばらくフリーの配管工として活動していました。社員も数名雇い順調に活動していましたが、2008年に世界的な不況(リーマンショック)が起こり、自分には関係ないと思っていましたが、突然取引先の会社からの仕事がなくなり、初めて「仕事なくなる」と言う恐怖を経験したと報告されました。

仕事が無いことにイライラし、社内の雰囲気も悪くなり、職員が相次いで退社し、谷さん一人となりました。

この時に経営者の自覚がないことと、勉強が必要と思っていた所に同友会と出会い、2010年に入会しました。入会后、同友会の三つの目的に共感し、経営者としての自覚を再認識しました。入会后しばらくして経営理念の大切さを知り作成します。その後希望に燃え活動し業績も好調となります。

その後、2014年に法人化、(株)恵比寿組を設立、社員数は正社員6名、パートナー職員7名(常時来ていただいている一人親方の職人さん)で活動することになります。

さらに経営指針策定セミナーに参加し、自社の強み・弱みを確認し経営指針の作成の大切さを学びます。しかし、業務が忙しくプレイヤーとしての仕事に没頭し中々指針作成ができませんでした。業績は好調でしたが将来の不安にかられていきます。社員のことを考えるとやはり明確な指針が必要だと経営指針策定セミナーに数回参加し、その時に同友会の仲間から「経営指針を作った方が良いとわかっていながら、なぜ作らないのか?それは経営者として甘えている!」との言葉に衝撃を受け、経営指針を作ることを決意します。

その場で経営計画発表会を行うことを発表し、会場



を予約し自分を追い込み作成し、無事に経営計画発表会を行うことができました。

発表会后すぐ、恵比寿組の中核をなす社員が緊急入院します。緊急の入院だったので、引き継ぎができず、非常に多忙になりましたが、その時に経営指針を作っていてよかったと実感します。指針があるのでプレずに業務を遂行する事ができました。

現在は入院した社員も無事復帰し、経営指針を基に順調に進んでいます。

今回の報告をお聞きし、ディスカッションも盛り上がり「経営指針は社員に向けてだけと思っていたが、自分自身のためでもあるとわかって認識が変わった」などの意見がでて経営指針の大切さをより深く学べ、また、自分のためなので個人事業の方でも作成しようと思う素晴らしいきっかけとなった報告でした。

(文責 府川 正樹)

# 広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

## 北松浦支部 例会報告

日 時	11月26日(金) 18:30～20:30
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	県北地区に描くドリームマップ
報 告 者	西海みずき信用組合 理事長 陣内 純英 氏



西海みずき信用組合は、2018年1月に佐世保の2信用組合が対等合併して誕生した金融機関です。合併と同時に理事長に就任された陣内さんの経歴、そして、県北地区に描くドリームマップをご報告いただきました。

長崎市の生まれで長崎西高から東京大学法学部に進学され、日本銀行に就職。大蔵省への出向等も経験されました。55歳で退職し、新潟県の燕三条にある三条信用金庫の理事に就任。その後現在の西海みずき信用組合理事長に就任されました。これまでの経歴より



人脈が広く、また日銀時代には審査担当で日本全国を回り年間の1/3は外泊という状況。ここで培った豊富な経験を、信用金庫というより地域に根差した金融機関で生かせると考えましたが、就職し感じたのはイメージと違う実態。信用金庫らしい金庫を目指すために徹底的に組織改革を実践し成功をおさめられました。

そして今、ご自身のふるさとで、その経験を改めて生かし地元貢献をするべく尽力されている姿をご報告いただきました。

その後、松浦市商工会議所の会頭に就任された稲沢さん、また副会頭に就任された池野さんの激励会を開催しました。佐世保支部、諫早支部からも大勢の参加をいただきましてありがとうございます。参加者全員からの激励コメントもあり、大変に盛り上がりましたし、御両名からの決意表明には、松浦のみならず県北地区をも牽引していく強い意思が伝わり、素晴らしい会となりました

(文責 前川 浩二)

## 五島支部 例会報告

日 時	11月20日(水) 18:30～21:00
会 場	福江文化会館
テ ー マ	経営指針作りは人を生かす経営の原点！
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員 (大村支部)

11月度の例会も、宮田さんの大きな発声で始まりました。今回はゲスト1名を含め計15名の参加です。また新入会員の井関悦正さんにバッジが授与されました。起業して間もない井関さんですが今後の活躍に期待大です。

今回の例会は、報告というよりは実際にはセミナーに近く、話に引き込まれていく自分がいました。

冒頭、同友会で学ぶ意義について解説いただき、同友会の目的、同友会運動と企業経営が不離一体であること、また同友会で学ぶことで人間尊重の経営を実践



できることなどを熱く語っていただきました。

次に今回のテーマ、「経営指針」についてです。なぜ「経営指針」が必要なのか？「経営指針」と「経営理念」の違い。「経営理念」から「10年ビジョン」「経営方針」「経営計画」へと続く成文化の枠組みなどの説明を聞き感じ入りました。個人的には宇土さんが



「経営理念」は羅針盤である。と繰り返し話をされていたこと、また「経営理念」は経営者の生き様であり叫びであるという言葉が非常に印象的でした。「経営理念」の必要性は？「経営理念」を社員に浸透させるには？「経営理念」を変えることの是非などの質問に



もきちんと答えていただきました。他社の事例を聞いたこともとても参考になりました。

今回は「経営理念」とは何か？の部分まで聞くことができました。ただ例会という限られた時間で、しかも濃い内容でしたので参加者から、「続きが聞きたい」「詳しく聞きたい」との声が出ていました。

既に経営理念がある企業にとっても、これからの企業にとっても、双方に役立つお話だったと感じました。

(文責 高細 圭一)

## 青年経営者会 例会報告

日 時	11月27日(水) 19:00～21:00
会 場	サン・アビリティーズ佐世保
内 容	青年経営者会11月例会
報 告 者	リーガルナビ行政書士事務所 代表行政書士 李 泳勲 会員(長崎出島支部) (有)酒の闘 営業係長 池野 辰太郎 会員(佐世保支部)



青年経営者会の11月例会は、初めての県北エリアでの開催となりました。

今回の例会の内容は、「新商品を開発して売れると思って製造したけど在庫の山…」「製造過程で出る端材、捨てるにはもったいないような気もするが…」「うちのこのサービスは他所にはない！でも全然儲からないんだよね…。」こういった悩みを報告いただいたあと、各グループに分かれてディスカッションし、討議の過程で新商品や新サービスの開発、もしくは新たな販路に向けた気づき等々につながることを目的として行われた、新しいスタイルの例会の報告でした。

まず、池野さんからの報告では、業界全体の悩みとして、空き瓶の処理費用の問題を悩みとして報告いた

だきました。

緑色や透明の空き瓶はリサイクルができず全て廃棄しないといけないとのこと、年間約80万程度の処理費がかかるそうで何か活用方法がないかと悩んでおられました。

報告の後に池野さんが各グループをまわって、その中で、「空き瓶を砕いてから何かに使用したらどうか？シーグラスにして海岸にまいている所がある」「空き瓶をインテリアに活用してはどうか？」などの意見がでていました。

それらの意見を聞き池野さんは「業界だけでは出ないような意見がたくさん聞けて、すごく参考になった」と感想を言われておりました。

次は李さんのご報告です。李さんからは、不良在庫(資料が集まらない、前例のない仕事で時間がかかる等の業務)、プレーヤーから経営者へなりたい、新規雇用をするかどうか考えている等の悩みをご報告いただきました。

池野さんと同じようにグループを回ってもらい、出していた意見は「勇気を持って社員に仕事を任せ、責任感を持たせる」「終わらない業務はないのだから焦らずにこなしていく」「社員を増やし、仕事を任せ、李さんしかできないことに集中する」などの意見がでて、報告後李さんは皆さんが親身になって考えていただき嬉しかったと感想を言われました。

初めての県北エリアでの青年経営者会の例会開催で、何か新しい例会の形をしてみようと企画された例会でした。

青年経営者という年齢の近い仲間同士なので意見も出やすい雰囲気、報告者・参加会員両方ともためになるとも良い例会だったと思います。

(文責 府川 正樹)

# 社員教育活動全国研修・交流会 in 岡山 参加報告

日時：11月28・29日(木・金) 会場：ANAクラウンプラザホテル岡山

テーマ：社員と共に、人間らしく生きる ～今、中小企業に求められる教育力とは何か～

報告者：

## <1日目> 基調報告①

(公財)操風会 岡山旭東病院 院長 土井 章弘 氏(岡山同友会常任相談役)

(公財)操風会 岡山旭東病院 事務部次長 諏訪 仁一 氏

(公財)操風会 岡山旭東病院 診療技術部次長・人材育成センター長 河村 武人 氏

## <2日目> 基調報告②

神戸大学 名誉教授 二宮 厚美 氏

事務局 田口 友廣



社員教育活動全国研修・交流会は労使見解と共育の関係を学ぶため、また各地同友会の活動の成果・教訓を交流し、同友会としてのあるべき社員教育活動の姿を確認し、今後の活動の展望を描くために開催されています。

今回はオプションとして研修・交流会の前日に岡山同友会が実施する「社員共育大学」見学会が企画され、こちらにも参加させていただきました。

岡山の社員共育大学では、一般社員と経営者を対象に、「仕事とより良く生きることの関係を共に考える」や「経営者と社員が同じ場を共有して学び、コミュニケーションを深める」などを目的に実施されています。講義は長崎同友会における支部例会と同様に実施され、会員による経営体験報告(問題提起)に基き、経営者・社員の混在のグループでディスカッションを行います。グループ長・発表者は社員が務め、経営者はグループ長のフォロー程度にとどめていました。今回は今期全8回のうち7回目の実施ということで、グループ長の進行もスムーズで、社員の皆さんが積極的にグループディスカッションに参加している様子が印象的でした。例会での「経営体験報告+グループディスカッション」という学び方は経営者が学ぶためだけでなく、普遍的な学び方だと感じました。

例会後は各社懇談の時間を設け、各社で経営者と社員で学びを共有しているということで、こういったところまで共育を徹底していることを学ばせていただきました。



研修・交流会の1日目は岡山旭東病院 土井さんと2名の職員の方からの報告でした。

岡山同友会で20年以上にわたり社員共育に携わり実践された土井さんの報告は圧巻で、土井さんの思い・経営理念がいかに関員に伝わり経営指針を作成しPDCAを回してきたのかを報告いただきました。また実際に経営指針づくりに携わる職員の報告では、岡山旭東病院でいかに指針づくりが職員にまで浸透して仕組み化されているか、そして理念経営の実践、基本方針やビジョンの追求に向け「学習型病院」としての社員共育の仕組みをつくっているのかを学ぶことができました。

基調報告の後には大田堯氏を偲ぶ企画として、動画の放映があり、大田堯氏の考える教育について改めて学ぶことができました。

2日目は神戸大学 名誉教授 二宮氏の基調報告でした。ここでは具体的な数値に基づく報告があり、その中で大企業よりも中小企業の方が、働き方の満足度が高いということがありました。また動物ではなく、人間だけが持つ特性に「目標を持つ」「言葉によるコミュニケーション」があり、この2つを満たすことが人間の生きがいにつながると説明がありました。そしてこれを達成するための具体的な行動として「労働」を挙げられ、人間は目的を持って仕事に携わることで生きがいややりがいを感じることができ、目的を共有する(経営指針)が働きがいの源泉となることを学びました。



最後に、オプション企画の同友会大学でのテーマが「メンバーシップ・リーダーシップとは」だった

のですが、1日目の基調報告の岡山旭東病院の職員の報告の中にリーダーシップに関する話があり、それは同友会大学での講義の内容と合致するものでした。同友会で学んだことが会員企業の社員にしっかりと浸透しているという実践を介間みることができ、今年で21期目となる岡山の社員教育大学の歴史の凄みを感じました。

今回は大変勉強になる機会をいただきありがとうございます。今後の共育委員会での活動に生かしてまいります。

## 第26回 中同協 青年部連絡会・宮崎同友会青年部設立総会 参加報告

日時：11月30日(土) 会場：MRTmicc 2F ダイヤモンドホール

専務理事 山口 善也

宮崎同友会青年部設立総会の前に中同協青年部連絡会がおこなわれました。まず熊本青全交の結果報告について実行委員長の森さんより報告がありました。

成果として全体テーマの2020年ビジョンを深め、広め、実践する青全交となったこと。1458名の参加登録があり歴代2番目の動員数であったこと。基調講演の内容もアンケート結果が平均4.92と満足度の高い結果が出たことなどを挙げられ今後の課題として青全交に参加されたゲストの入会へのフォローや現在の会員の学びの質をどのように上げていくかを報告されました。

次に愛知青全交の企画概要等について青山実行委員長より説明がありました。日時：2020年9月17日(木)13時開会～18日(金)12時閉会、メイン会場：ホテルナゴヤキャッスル(全体会・懇親会)参加規模：2000名(各地1000名、愛知1000名)開催地スローガン「天下布舞(てんかふぶ)～同友会理念を世界の隅々まで」、分科会のテーマを23募集し、次の連絡会で参加目標を確認することなどが説明されました。

続いて2030ビジョン策定プロジェクトについて梅田プロジェクトリーダーから進捗状況の説明があり来年の6月に2030年ビジョンを発表されるということでした。

続いて今後の青全交、連絡会について説明があり青全交について現在開催地が決まっていない2024年の立候補を来年6月に募り9月の連絡会でプレゼンしてもらいその中から各県1票の投票で決定することでした。今後の連絡会の予定として、第27回2020年2月12日(水)京都13:00～17:00 ※京都全研終了後2月14日の予定でした



が、前日の2月12日に変更になりました。第28回2020年月日(未定)第29回2020年9月18日愛知青全交終了後を確認しました。

続いて鳴原副代表から同友会や連絡会とのかかわりで自社経営がどう変わったかの報告がありました。その後「何のために青年部活動をおこなっているのか」というテーマでグループ討論をおこない、同年代の仲間からの刺激や他県の問題や状況を知り、自県を見直すことができるなどの意見が出されました。

連絡会終了後宮崎同友会青年部設立総会がおこなわれ、まず議長が選出され第1期議案活動方針(案)並びに第1期役員を選出に関する件を準備委員会世話人代表の桑山さんより提案があり全て承認されました。

続いて青年部連絡会代表の中野愛一郎さんの記念講演では「幸せになる経営の神髄～私たちは何のために経営するのか～」というテーマで講演され、同友会での学びを自社でいかに実践し会社を伸ばしてこられたかを話していただきました。その中で事業を伸ばすために必要な三本柱として、「ビジネスモデル」「採用」「全社員一体化」を挙げられ一つひとつをしっかりと社員と共に実践されているところがとても学びになりました

た。その後、「良い会社とはどのような会社だと思いますか。」というテーマでグループ討論をおこないました。グループ発表では、コミュニケーションがしっかりとれている会社や経営指針を作成し社員と共に実

践している会社などが良い会社ではないかという発表がありました。その後の記念祝賀会では全国の多くの仲間と交流することができ、宮崎同友会青年部の準備の素晴らしさと熱い思いを感じた設立総会でした。

### 青年経営者会 会長 飛田 精一

この度、中同協青年部連絡会、宮崎同友会青年部設立総会に参加して参りました。

13時から青年部連絡会では、青全交の誘致に関して、愛知青全交時の全国青年部連絡会議にて「青全交を開催するにあたり2030年ビジョンがどれだけ進められるか？」のテーマで立候補の県にてコンペを行い、各県の投票によって決めることとなりました。しっかりと青全交誘致に向けて頑張ってお参ります。

また「あなたは何のために青年部活動をしていますか？」のテーマでディスカッションを行い、支部を飛び越えて広く活動できるやる気と熱量がある場である、県外に行きやすく横のつながりが広げやすい、何にでも挑戦できる場である等の結論となりました。

16時30分からの宮崎同友会青年部設立総会に参加、この日に青年部会が設立することが当たり前ではなく凄いことなんだと改めて認識し宮崎青年部の皆さんに感動しました。

記念講演では(株)イベント21 代表取締役社長の中野さんによる「幸せになる経営の神髄」のテーマのもと、同友会の神髄は、インプットではなくアウトプットであり学び以上に気づきが大事である、そのた



めの青年部でありアウトプットできるよりよい環境であるとのこと。

また例会の1時間を報告だけ聞いて何かを得ようという発想がもったいなく、真の学びを体得して自社に生かさなければ意味がなく目標必達の組織である同友会を会社に反映させないといけない、それが「役得」であり学びの醍醐味であると学びました。

とにかくすごい人で、たった12年で赤字だった会社を年商15億に社員数4名から164名にしてきた人の納得の講演でした。

今回も全国行事に参加することができ、素晴らしい経営者の皆さんと交流することができました。

また全国行事に参加できるように頑張ってお参ります。

### 青年経営者会 副会長 山崎 晃

宮崎県で開催された中同協青年部連絡会、宮崎同友会青年部設立総会に参加して参りました。連絡会は、青年部連絡会代表の中野さんからの青年部の発展についての熱い想いが込められた挨拶で始まりました。

第一部では、熊本青全交の感想や課題の報告、来年の愛知青全交の企画概要等についての報告がありました。愛知青全交は「天下布舞」をスローガンとし、世界に誇れる日本の未来を創っていく契機とすべく開催されます。参加規模も2000名を目標としており、実現すれば過去最大の青全交となるため、開催への強い意気込みを感じました。

第二部では、2030ビジョンにむけて検討する提案があり、策定プロジェクトの設置が確認されました。その後は、嶋原さんの報告を拝聴させていただき、「何のために青年部活動をするか」についてグループ討論を行い、交流を深めました。

連絡会後は、宮崎同友会青年部設立総会が開催され



ました。第一期は「共に挑戦 未来へ前進」をスローガンに、青年部活動は企業経営と不離一体という考えを掲げ活動が開始されます。全ての議案が無事に可決され、いよいよ宮崎同友会にも青年部が立ち上がりました。

引き続き記念講演では、(株)イベント21の中野さんの報告を聞くことができました。倒産寸前だった会社を、如何に利益を獲得し成長させたか。学びを実

践し、社員と共に成長する。「you happy、we happy」を経営理念として、みんなで幸せになるために、本気、本音で社員と向き合う中野社長の姿勢に感銘を受けました。

講演後は「自社を良くするためにどんなことに取り組んでいますか、何に取り組めますか」をテーマにグループ討論しました。様々な意見がある中、やはり経営指針の大切さを改めて認識することができました。

その後の祝賀会では、宮崎ならではの太鼓やひょっとこ踊りの余興もあり、大盛況の内に締めくくりとなりました。

同世代だからこそ語りあえるビジョンがある。自分達の成長を確認しあえる場所である。これからも青年経営者会の活動を通して、共に前進し成長していける仲間達との絆を大切にして学びを実践し、明るい未来にするために挑戦していきたいと思います。

## 長崎県における中小企業振興に向けた産業労働部との意見交換会 開催報告

日時：11月5日(火) 18:00～20:40 会場：「えきまえ」いきいき広場



2019年11月5日、中小企業者の声を行政に届け、企業が生き活きと活躍できる社会環境の整備を目指して、長崎県産業労働部との意見交換会を行った。まずは昨年続き長崎大学の協力を受け行った「長崎県中小企業レポート2019」についての解説があった。そしてその後の意見交換では、まず前半部分として、長崎県産業労働部より廣田義美部長、中小企業家同友会より時政策委員長がパネリストを務め、長崎大学山口純哉准教授によるコーディネートのもと「選ばれる企業づくりのための行政×中小企業のミッション」等のテーマについてディスカッションを行った。

長崎県においては人口減少に歯止めがきかず、特に若者人口の流出が近年の社会問題であり、これは企業経営にも直接的に悪影響を及ぼす事項として解決しな



ければならない問題となっていることを受け、それに向けての長崎県施策のいくつかを紹介いただいた。それを受けて各事業者は施策を有効

に活用するとともに、同友会独自においても「現代の若者像」の正確な捕捉なしには人員確保・人材定着にはつながらないのではとの問題提起を行った。

また後半部分では先のパネルディスカッションを受けてテーマ「若者定着のための産業振興にむけて今長崎に必要なこと」についてグループごとに熱く議論が交わされた。その中には「経験値を高めるにおいて外の世界を見ることも必要。肝心なのは一定の経験を積み終えた後に故郷長崎に戻ってくる土壌（魅力ある職場）整備をしておくことである」などの意見が出され、参加者の共感を得る場面があった。

最後に同友会横田副代表理事より「企業を取り巻く環境において官民が実態を共有し、その解決方法について議論を深める良い機会となった。」とのまとめがあり、このことからこれが一過性の事業として消化されるのではなく、年に数回の定例開催が行われていくことの重要性について参加者皆で共有し閉会となった。

我々中小企業家同友会では中小企業振興基本条例の制定こそが中小企業の力を地域の力に変えていく上では必須のものとしてその運動を展開している。官と民が一体となった経営環境づくり・地域づくりを実現するためにこれからも積極的に関わっていききたいと思う。

(文責 理事・政策委員長 時 忠之)

# SDGs勉強会 開催報告

日時：11月8日(金) 18:30～21:00 会場：つくば倶楽部

報告者：長崎大学 経済学部 准教授 山口 純哉 氏



人を生かす経営4委員会（経営労働・共育・ダイバーシティ・共同求人）の主催で、長崎同友会として初めてSDGsの勉強会を開催しました。

「SDGs」とはすべての国連加盟国が2030年までの達成をめざす、貧困や教育、環境などの分野についての17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットと232の指標で構成されています。

はじめに山口氏から、SDGsが2015年に国連サミットで採択されるようになった社会を取り巻く状況・新たな潮流について説明がありました。そこには個人が地域環境やひと・社会・地域に配慮したエシカル消費に興味を持つようになったこと、投資においてはESG（環境・社会・ガバナンス）投資が拡大していること、社会課題へコミットした企業理念を持つ企業が増えていることが挙げられました。

次にSDGsの到達点や国内における政府・自治体・具体的な企業の動向について説明がありました。地域企業がSDGsに関わる意義として、①地域企業が活動する社会の存続 ②地域企業の価値向上 ③地域企業による新たな市場の開拓 ④地域企業の経営資源となるネットワークの獲得 の4点について説明いただきました。

そして地域企業がSDGsに取り組むために、①組織内外のバリューチェーンを把握する。 ②社会的な価値の実現に貢献できる部分を探す。 ③「やるべきこと×やりたいこと×できること」で優先順位を明確にする。 ④組織内外のマネジメント・計画から評価のサイクルに落とし込む という手順について説明がありました。ここでは自分の事業はSDGsの何番に近いのか考えてみると良いことや、無理をする必要はなくちょっとした工夫や1つの作業を変えることでSDGsに取り組むことができるということを学びました。

後半は、グループに分かれワークを実施しました。ここでは自社の事業の説明をしたのちに、グループから事業に対するアイデアや新たな事業展開などが話され、最後は1枚の模造紙にまとめ発表をしました。ここでは本業以外の方からの意見を聞くことで新たな視点を発見することができ、またSDGsへの取り組みを意識することで、新しいビジネスのアイデアがどんどん生み出されていました。

今回の勉強会を通して、1つの作業を変えることで我々中小企業もSDGsに取り組むことができるということを学び、SDGsに取り組むことで新しいビジネスの可能性が拡がると感じることができました。

人を生かす経営4委員会はこれからもこうした勉強会の実施等を通して会員企業に役立つ学びの場の提供や情報発信を行って参ります。みなさまのご参加お待ちしております。



(文責 事務局 田口 友廣)



## 社長と〇〇シリーズ「社長と飯」開催報告

日時：11月15日(金) 19:00～20:30 会場：ボンボヤージ



第1回社長と〇〇シリーズ「社長と飯」を開催しました。同友会会員が8名に対して大学生が16名参加ということで非常に実のある会になりました。今回は共同求人委員会が主催で開催し、企業側としては今の学生さんの考えや就職に対する想いを聞くこと。一方、学生側としては地元の中小企業の経営者と話をしてさまざまな業種に触れていただくという目的のもと、情報交換としては非常に有効な場となりました。

学生さんと話をする中で、現在勉強をしている専門の職業に就職することは考えていないという学生さんもあり、まったく考えていなかった業種の経営者の方と話をする機会がもててよかったという言葉も



えたりと、今後の共同求人委員の活動を展開していく中で参考になる貴重な意見を聞くことができました。

今後はさまざまな分野で「社長と〇〇シリーズ」を展開していきながら多くの同友会会員さんが参加できるような仕組みづくり、長崎に優秀な人材が残るような活動をしていきたいと思います。

(文責 県共同求人委員会 副委員長 野方 康平)

## 第2回 新入社員フォローアップ研修 参加報告

日時：11月16日(土) 13:00～16:00 会場：諫早市社会福祉協議会館



今回はチームで仕事をする力がアップする2種類のワークが行われました。ワークの前に24時間以内にあった面白かったことを相手に話す時間があり、松本共育委員長から人によってポジティブに考える癖とネガティブに考える癖があると聞きました。私はネガティブに考える癖があるのでポジティブに考える癖をつけていきたいと思いました。

1つ目のワークは、円になってボールを回すスピードを競うワークでした。2チームに分かれて行い、私のいるチームでは円を小さくする、ミスをしないように回すといった意見が出てタイムを短くして行くことができました。

2つ目のワークは4名1組になり、組み合わせると



様々な形になる4種類のピースをリーダーの指示で同じ形になるように組み合わせるワークです。最初は質問なしでリーダーの指示だけで組み合わせましたが、なかなか同じ形にすることができませんでした。段々質問できる回数を増やして最後には何回でも質問をしてもよいとなりましたが、私のチームでは同じ形にすることができませんでした。自分ができたと思っ



ていても実際に見てみると全然違う形だったこともあり、「伝える」と「伝わる」は全然違うと学びました。

私が今回の研修に参加して「伝える」は難しいことだと感じました。自分は伝えられているつもりでも相手に伝わっていないと意味がないので、相手が分かりやすいように言葉を変えて自分なりによく考えて伝えるようにしたいと思います。また伝える側だけでなく聞く側も伝えられた



ことを理解して行動する力も必要だということをおぼることができた研修でした。

今回学んだことを生かして仕事でミスをしないようにしていきたいです。

(文責 事務局 大島 小枝)

## ダイバーシティ委員会 第13回例会 参加報告

日時：11月18日(月) 18:30～20:45 会場：ロイヤルベルズ諫早

テーマ：あなたの不安解決します！！～外国人技能実習生を受け入れてみませんか？～

報告者：ふれあい事業協同組合 代表理事 (外国人技能実習機構) (株)登利亭 代表取締役  
野副 智徳 会員 (諫早支部)



外国人雇用に興味がある、しかしどうやって雇用したらいいのか…そんな不安が少し取り除かれたような例会でした。

技能実習生という制度はまず、人手不足の解消という観点ではなくあくまでも国際協力の一環ということ。雇用

できる業種、住まいや教育など細かいところまで説明していただきました。野副さんの会社では細かい教育など行き届いており、雇用する側は安心できるなと感じました。野副さんは試験などでその子が持っている素質などもみえています。素質を生かすことは、人を生かす経営のダイバーシティの観点からも大切なことです。

しかし、実際にはずさんな外国人雇用をし、失踪してしまうこともあります。失踪の原因はほとんど経営者に問題があるようです。雇用のうまくいっている会社では、地域のお祭りとお祭りの試験が重なり、実習生がお祭りに参加できないことを伝えると、地域の方がお祭りの日程を変更したそうです。このように地域に必要な存在である社員のいる会社は素晴らしいと感じました。

グループ発表ではディスカッションで質問に答えていただきました。なぜ彼らは長崎を選んできたのか？実際はどのようなプライベートを過ごしている

か？など、質問は具体的に雇用に繋がっていくような内容でした。

懇親会でもひっきりなしの質問に野副さんは丁寧に答えてくださいました。雇用に大切なことは差別しないこと。できるだけ標準語で話すこと。きちんと向き合うことが重要だと感じました。

(文責 長崎出島支部 菅原 千代枝)





# 開催報告

経営指針書の存在は企業の進むべき方向を明確にし、全社一丸の体制を築き上げるのに大いに寄与します。対外的な信用力を高める上でも大きな効果を発揮します。

同友会佐世保支部では、今年も「経営計画書策定セミナー佐世保 365 方式」を開催しました。毎年同友会が推薦するもっとも重要なセミナーであり、同友会の学びの 1 丁目 1 番地です。

日時：2019.11.9 (土) 9:30 ~ 11.10 (日) 15:00 会場：魚魚の宿

### ◆ 参加企業 ◆

(有) 酒の一斗
(株) きゅーぶ
社会保険労務士法人 竹内事務所
着付教室 はるいろ。
(福) 宮共生会
(資) 古賀商店
(株) 地域総合研究所
(株) 福祉工房 K's
STSOL 府川開発
(株) 村上彫刻
(株) 広告のアクセス
西海みずき信用組合
スタジオドリーム

### ◆ 講師・スタッフ企業 ◆

チェンジコンサルティング (同)
(株) 広告のアクセス
(福) 宮共生会
(株) 福祉工房 K's
(株) 地域総合研究所
西海みずき信用組合
社会保険労務士法人 竹内事務所
(株) 村上彫刻

参加者：13 名  
スタッフ：8 名

ありがとう  
ございました

### ◆ セミナーのスケジュール ◆

1 日目		2 日目	
時間	項目	時間	項目
9:30~	開講式 (オリエンテーション)	7:00~	朝食
9:40~	経営計画書概要 (手引き I・II)	9:00~	経営計画の策定
10:30~	経営理念・10年ビジョン	9:50~	休憩
11:10~	ワーク	10:00~	経営計画の策定(数値)
11:50~	発表(自社紹介・理念・10年ビジョン)	11:10~	休憩
12:30~	昼食・休憩	11:20~	金融関係から見た経営計画書
13:30~	経営方針	12:00~	昼食・休憩
14:30~	ワーク	13:00~	経営指針の実践
16:30~	発表(SWOT・経営方針)	13:40~	経営計画発表会の実践
17:20~	経営計画書を作る	14:00~	発表
19:00~	夕食・懇親会	14:30~	閉講式(決意表明・修了証授与)
21:00~	経営計画書ワーク (座談会)		総括

## セミナーの様子



支部長の挨拶からスタート 講話の様子 (講師はその分野のエキスパート会員)



ワーク、皆真剣!



個人発表



1 日目終了。明日も頑張るぞ!



感動の修了式



それぞれの経営理念



それぞれ 次のステージへ GO!!

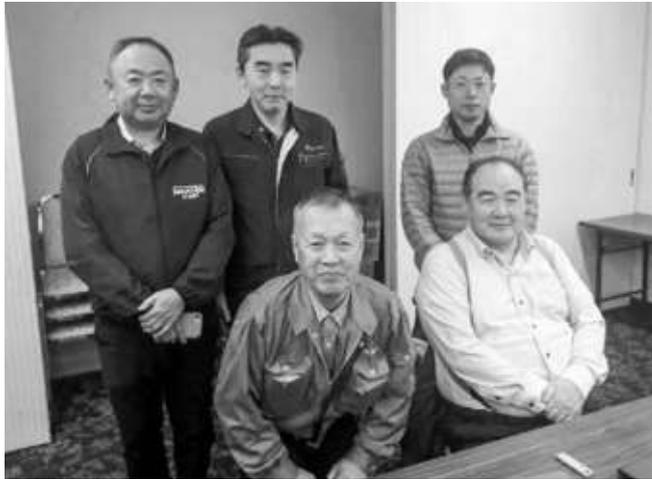
## セミナーにご参加いただいた方の声

- ・テキストの使い方が良く分かり、これを使えば計画書は必ず作成できると思った。
- ・労使見解が今まで良く分からなかったが少し理解できた。
- ・各用語の解説が噛み砕いて説明され、解りやすかった。
- ・初めて参加できたので解らない事が多かったが、実例などを聞いた事が良かった。
- ・中期計画の作成方法 (10 年後~落とし込んでいく事) 等、目標の立て方など知らない事がたくさんあり、勉強になった。
- ・SWOT 分析をそのまま経営方針に落とし込みをできるのも良かった。
- ・成文化の大切さがとても解りやすかった。
- ・思っていたより時間がかかったので日頃から考えている事をメモしたり、社長と話す事が大切だと思った。(後継者としての意見)
- ・環境を分析し、現在ある不安要素とこれから先に考えられる事業運営の課題が整理できた。
- ・今後、中期計画→単年度計画の落とし込みを実行し、合わせて組織に浸透・定着したいと思う。
- ・最も重要となる経営理念が大きな軸となるよう、これからの経営計画書の策定に役立てたい。
- ・今まで何とか生きてきた。10 年後の自分・仕事の事を考えるなんて想像もつかなかったが考えてみると楽しかった。
- ・後半、ワークでキャパオーバーになったが、今後の事も考えなければならぬ! という事を気付けてよかった。理念ができて良かった!!
- ・経営計画書を策定する事によって、目的地に向かって航海する海図であり、これなしには目的地には到底たどり着けないという事も理解できた。

来年も開催いたします。皆さま是非ご参加くださいませ。

# 事務局企業訪問

今回の企業訪問は今期で支部長として会員を牽引する北松浦支部の(株)電計社：津崎幸三会員です。起業して30年、経営や地域に対する熱い想いをお話いただきました。



(写真中央(前列左)が津崎さん)

## 【電計社のスタート】

1988年、前職の電気工事関連のスキルを生かし、県北の離島地域を中心としたエアコンの設置工事を主な事業として電計社は起こされました。電気工事だけではなく「計装」「計測」「設計」まで視野に「計」の字を入れたそうですが「計の方は今は全くやってないね」と笑顔で話す津崎さんです。現在7名体制で新築の住宅や社屋などの電気工事日々忙しく飛び回っています。この30年を振り返り、以前在籍していた同友会会員の業務体系からヒントを得て、「暮らしの困ったを解決する会社」としてエアコン洗浄やガラス窓の割れを防ぐためのフィルム加工など、電気工事だけではなく様々な隣接する業務へのチャレンジとその失敗談も話していただきました。今後は下請けだけではなく、コンスタントに売り上げを伸ばす事業や公共事業などにも着手し、先を見据えた経営展開を考えています。

## 【経営指針～学びと実践の繰り返し】

そのためのベースが経営指針書です。同友会(特に会員の稲沢鐵工：稲沢さんの存在が大きい)で学び、経営指針を作成し、毎年社員と共有しています。また今回初めて指針書の最後のページに個人目標欄を設けました。来年の指針書から個人目標が上がってくることを今から楽しみにしているそうです。また社内会議においても10年後どのような電計社であるかを付箋に書いて意見を出し合うなど、充実した内容の指針書

を作成しています。

指針書の実践で1つの事例をうかがいました。電計社ではここ数年、夏の時期に鹿町工業の高校生をインターンシップとして受け入れを行っていますが、初めの頃は単に現場同行しエアコンの設置など業務体験にとどまっていたカリキュラムが、今は初日の半日を使って経営指針を説明し、5年、10年のビジョンを熱く語るようにしているそうです。現在在籍する21歳の社員さんもその1人です。一度は県外に就職されたものの、事情があり帰崎、今は電計社で頑張っています。これは経営指針の共有があったからこそ実が結ばれた縁だと感じました。若者の地域離れが進む中、若い世代の採用に向けて今後も高校生のインターンシップを受け入れていく予定です。

## 【今後のビジョン】

電計社としての今後のビジョンは5年以内に公共事業を受注できる体制をつくと同時に、暮らし全般の仕事に携わるための組織づくりです。社内規定では「70歳まで役員、72歳で完全引退」。あと10年ほどですが、引退後大好きな魚釣りをゆっくりと楽しむためにも、津崎さんは事業承継を含めた経営課題や地域の課題に対して同友会の仲間と共に学び実践を繰り返していきます。

## <会社概要>

(株)電計社

住所：松浦市志佐町浦免1742-2

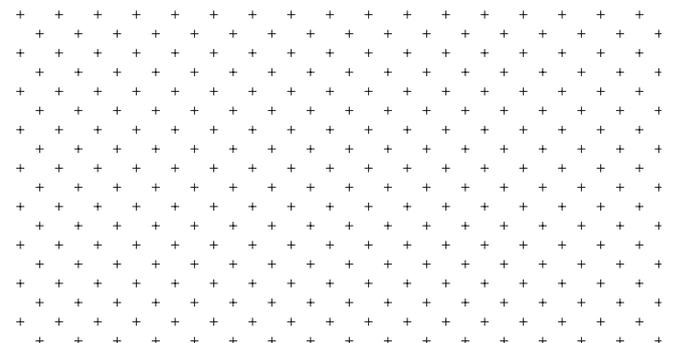
TEL：0956-72-5524 FAX：0956-72-0282

## <経営理念>

我社は、進化する

- 一、技術・知識の進化
- 一、会社組織の進化
- 一、人財の進化
- 一、社会への進化

(文責 事務局 峰 圭太)



# 会員活躍

(左) 長崎新聞 11月8日 諫早支部 佐藤 快信 会員

(右) 長崎新聞 11月23日 長崎浦上支部 吉田 清規 会員ほか

今年4月に大村市本町の中心市街地複合ビル(愛称「プラットフォーム」)に開設された長崎ウエスレヤン大(諫早市)大村サテライトキャンパスの開校記念式典が7日、現地であった。

同キャンパスには、インドネシアからの留学生計34人が在籍。日本語教育プログラムのほか、卒業後に日本企業への就職や起業することを目標として、大

## ウエスレヤン大・サテライトキャンパス開校式 大村での学び「目標高く」

留学生が誓いの言葉



誓いの言葉を述べる学生代表の2人  
＝大村市、プラットフォームおおむら

「ルさんの」とキリーシユ・ゴクルさん(2)が「母国との文化の違いがとてもおもしろく、大村の人たちも優しい。多くの友人と知り、高い目標を達成したい」と誓いの言葉を述べた。(荒木 竜樹)

## 佐々に新斎場完成 メモリード、来月1日運用開始



山々の雄姿をイメージして設計された佐々メモリードホール  
＝佐々町本田原集

冠婚葬祭大手メモリード(総合本部・西宮支店)が、北松佐々町本田原先に完成した。速くに竣工した。

難関と叩きつぶすように山々の雄姿をイメージしたデザインを採用。12月1日から運用を始める予定。メモリードグループで14年所出。グループの志を継ぐ代表者は「将来的には200カ所にして、葬儀ホール・ワンを自給したい」と語った。

広さは木造半層約800平方メートル。ふんだんに使われた木のぬくもりが感じられる落ち着いた雰囲気を演出。最大約100人収容できるホールと、家族や親類の集まるにも対応できる小ホールを用意した。20日は現地で祝賀会があり、関係者約120人が出席。吉田昌敏社長は「地域の

## 新入会員の皆さんです <11月入会>

(敬称略)

### <入 会>

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	みさき たかのぶ 岬 孝暢			
企 業 名	アサヒ法律事務所			
役 職 名	弁護士			
企 業 住 所	〒855-0875 長崎市栄町1-25 長崎MSビル8F			
T E L	095-801-0606	F A X	095-801-0607	
業 種	弁護士業			
企 業 PR	中央公園前にある法律事務所です。債権回収や事業承継支援については、ぜひ弊所へご相談ください。			
スポンサー	榮 紀祥			

支 部 名	五島支部			
氏 名	いせき よしまさ 井関 悦正			
企 業 名	井関シロアリ消毒			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒853-0032 五島市大荒町735-1			
T E L	0959-76-3431	F A X	0959-76-3432	
業 種	シロアリ消毒、床下換気扇			
企 業 PR	五島内で、長年培ってきたプロの目により、一件一件、安心、確実、丁寧な施工を行なっております。			
スポンサー	山本 一徳			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	みやけ じゅんこ 三宅 順子			
企 業 名	長崎海産(株)			
役 職 名	取締役部長			
企 業 住 所	〒856-0844 大村市溝陸町796-3			
T E L	0957-53-0180	F A X	0957-53-0280	
業 種	海産物、加工、卸売			
企 業 PR	おいしい海産物を卸しております。			
スポンサー	三宅 ちはる			

# 12月理事会 報告

12月5日(木)「えきまえ」いきいきひろば 出席27名 欠席2名

## 開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

今年は令和に元号が変わりあらためて即位の儀式などを見て感嘆しました。昔のことを脈々と継承しています。同友会も理念をしっかりと学び直す必要性を感じています。変えていいこと、変えてはいけないことを精査していきたいと思います。仲間づくりに関しては退会者も増えており、これも時代の流れかもしれません。高原支部の10周年記念講演でもM&Aの内容でした。様々なことに向き合う時代ともいえます。

## 仲間づくりについて

1) 入会・退会・企業変更の承認について  
- 6名の入会、9名の退会、1名の企業変更を承認

2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について  
・原田仲間づくり委員長 総括-(代理: 山口副委員長)  
11月14日に今期2回目の仲間づくりの日を開催。各支部なかなか結果に結びつかず苦戦した。これを受け11月16日に委員会を開催。2月、最終の仲間づくりの日に向け、紹介カードの配布と回収の徹底、仲間づくりの日当日は申込書の回収もしくは予備日としての位置付けを確認した。また仲間づくり委員会が単体で動くことのないよう、支部長を中心に支部全体で取り組みをお願いします。

・金井代表理事-  
11月16日の委員会に参加した。委員長を含め全体的に準備不足だった。当日アポがないというケースもあった。ここ10数年純増してきた流れを断ち切るわけにはいかないため現状が切羽詰まっている状況ということを確認し取り組んでほしい。来期の予算に対して、様々な要求もいただいたが、会員が増えないとできることも限られてくる。再度2月の仲間づくりの日に向けて支部長、理事を中心によりしくお願いします。

※第2回 県下一斉仲間づくりの日  
最優秀支部賞 表彰-長崎出島支部  
スポンサー賞 表彰-該当なし

## 協議・承認事項

1) 第26回経営フォーラム 決算報告と承認について-平湯実行委員長・廣谷副実行委員長  
→未収金があるため大枠の収支として承認

2) 賀詞交歓会について-山田事務局長

・予算案修正承認について  
→承認

・動員目標

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目 標	35	35	20	20	15	30	5	5	165
(参考)本年参加	21	34	13	15	8	13	0	3	107

3) 組織検討特別委員会を受けて-金井代表理事  
今後は県北の主要会員と三役会で懇談会を設け、より詳細を詰めていき、その後組織検討委員会にて協議する方向性とする。

4) 人を生かす経営4委員会からの提案について  
「用語・単語の意味の理解、解釈統一のための勉強会開催」提案-松本委員長  
→4委員会からの案を承認。今後、具体的な勉強方法を委員会で検討し、決まり次第随時提案いただく

5) 来期に向けて  
①活動方針案について-金井代表理事  
→12月20日(金)までに各支部、委員会にて検討し、事務局まで意見を提出することを確認  
②役員人事の提案について-金井代表理事  
→1月理事会で承認  
③予算案について-上野財務委員長  
→12月20日(金)までに各支部、委員会にて検討し、事務局まで予算申請を行うことを確認

- ④第27回 経営フォーラムについて-田中支部長  
(提案内容)  
①会場-ホテルニュー長崎 ②開催日-2020年11月11日(水)または11月17日(火) ③目標-333名  
④分科会数-4 ⑤組織図  
→上記について、開催日を11月11日(水)にすることを含め、提案内容を承認  
⑤九州・沖縄ブロック青年部合同例会について-飛田会長  
(提案内容)  
①会場-ホテルニュー長崎 ②開催日-2021年1月15日(金)または1月22日(金)  
③実行委員長-安井 忠行会員 ④記念講演を長崎が担当  
⑤目標-320名 ⑥参加費1万円  
⑦分科会数-4 ⑧県本部への50万円支援の要請  
→上記および資料の内容について、開催日を1月22日(金)にすることを含め、提案内容を承認。これに伴い、予算案にある活動活性化対策費の枠は50万円となることを確認  
⑥名簿作成について-山田事務局長  
→6月1日現在での作成について承認

## 報告・連絡事項

1) 11月 県本部・支部・委員会等の活動状況について  
《委員会等》

例会	<p>委員会は開催せず、11月25日(月)開催の長崎浦上支部例会に出席。 目的…GKBRシートを使ったグループディスカッションの体験。 感想…シートをまとめるためには、結構な時間がかかるようであった。使い方に慣れていないグループ長であっても50分はかかりそうであった。ただし、シート自体は最終でまとめに行きつくように作られているので、勉強会を行い、記入の仕方を学ぶ必要がある。</p>
経労	<p>(今回の活動) 2-1 「経営者塾」の開催 ⇒各支部委員長に協力要請済 2-2 「経営指針実践セミナー」の開催 ⇒11/23 第5回開催 参加者 9名/ 申込み14名 + ゲスト1名 11/13 島原支部第2回開催 参加者9名/ 申込み13名 2-3 県委員会と支部委員会活動の活性化 ※支部での例会報告 ・11/20 五島支部 宇土会員 報告 ⇒来年1月 経営理念勉強会を開催予定 ・11/22 佐世保支部 谷会員 報告 ・宇土会員 座長 2-4 その他 第5次ビジョン達成に向けて ・アンケート実施→e.doyuにて配信+各支部委員長が100%回収を目指す</p>
共育	<p>・第二回合同新入社員研修 ワクワクチームビルディング開催 2019年11月16日(土) 場所: 諫早市社会福祉会館(13時~16時) 研修1 PDCAを回す 研修2 伝達力(伝える力) 新入社員参加者18名 研修1 大変良かった9名(50%) 良かった7名(39%) 普通2名(11%) 研修2 大変良かった14名(78%) 良かった3名(17%) 無記入1名 オブザーバーの参加者 3名共に研修1.2 大変良かった(100%) ・第4回共育委員会16時から17時 場所: 諫早市社会福祉会館 研修で学んだことの発表の時間を取る・新入社員同士のコミュニケーションをとる時間を増やす 等々の改善案</p>

	(今後の課題) SDGsのカードゲームができないか? 同友会用語の統一、動画で講義を録画する(6ヶ月共育委員研修等々)
政策	■11/5(火)18:00~20:40「長崎県産業労働部との意見交換会」@「えきまえ」いきいき広場 長崎県産業労働部廣田部長をパネリストに、長崎大学山口准教授をコーディネーターに迎えパネルディスカッション形式にて意見交換会を行った。長崎県が推進する中小企業活性化策を知り、その上で企業者側からの要望等を伝えることができた。やはり官民が一体となって地域づくり(経営環境づくり)に邁進していくことが重要と確信した。今後は年に数回の開催が必要との認識をお互いで確認して終了した。
情報 広報	11月19日(火) 19時00分~ 同友会事務局 出席者5名 1. 広報誌 編集会議 2. ホームページについて 3. e.doyu 利用 ・10月のアクセス状況低下 →経営フォーラム開催月で各支部の例会が引き続き非開催であった為(前年度以前も同様) ・e.doyu をスマートフォンのホーム画面に登録(ショートカット)方法の説明書 広報誌に折り込みを行う
仲間 づくり	11月14日、第2回目となる「県下一斉仲間づくりの日」を開催した。各支部ご健闘いただいたが、数字について伸び悩んだ。16日には北松浦支部にて県の委員会を開催し、今年度最後となる2月の「仲間づくりの日」に向けた取り組みの申し合わせを行った。 (取り決め内容) ・各支部役員会、例会、委員会において紹介カードの配布、回収の徹底 ・「仲間づくりの日」当日は回収日、もしくは予備日という位置づけにし、当日までにある程度の準備を完結させる
ビジョン	“第5次ビジョン”と“7つの柱”進捗アンケート実施について ・12月中旬に川上委員長より各委員会のアンケートフォームを送信 ・提出いただいた進捗アンケートは、三役会・事務局にもフィードバックをいただく ・2月と3月にビジョン委員会を開催し、全ての検証・フィードバックを行う
ダイバー シティ	11月18日(月) 第13回ダイバーシティ委員会例会をロイヤルベルズ諫早で諫早支部 ふれあい事業協同組合(外国人技能実習機構)代表理事 野副会員を報告者に、外国人技能実習

	生受け入れについての内容で開催 参加は38名 浦上(4)出島(6)大村(7)諫早(13)島原(6)佐世保(1)北松浦(0)五島(1)
共同 求人	■11月15日(金)18:00-19:00 県共同求人委員会開催 場所:ボンボヤージ ■11月15日(金)19:00-21:30 「社長と〇〇シリーズ 第1回 社長と飯」 参加者 同友会会員:8名(7名+事務局峰次長) 大学生:16名(長崎大学12名、純心大学3名、活水大学1名) 場所:ボンボヤージ 4テーブル(1テーブルに会員2名、学生4名)に分け、途中会員をシャッフルしてまんべんなく交流ができるように工夫した。結果、21時終了予定だったが、終了時刻が30分も超過する盛り上がりとなった。大学生は2、3年生が中心だったが、同友会会員が学生のリアルを体感し、また、学生は、地元の中小企業と経営者のリアルに触れることとなった。 ・次回以降のイベント告知用に、LINE@を作成。参加学生に登録してもらった ・共同求人委員会の愛称も後半の話題トピックとして話し合ってもらった。良いアイデアも出たので、次回委員会で検討予定 ・今回のイベントを次回委員会で検証し、第2回目のイベントを企画予定(県主催) ・来期は各支部で工夫を凝らした「社長と〇〇シリーズ」を開催計画予定 ・当該シリーズは、経営指針のあるなしなど関わらず、会員であればどなたでも参加できるレベルと設定する予定
4委員会	用語・単語の意味の理解、解釈統一のための勉強会開催の提案を行った。
青年 経営者 会	11/13役員会。経営フォーラムの感想報告、11月佐世保例会への参加状況についてなど、九州沖縄合同例会について議論 11/18に青年部九州沖縄ブロック会議に3名参加、熊本合同例会に3名参加 11/27に青経佐世保例会開催 11/30に全国青年部連絡会議・宮崎同友会青年部設立総会に3名参加予定

2) 例会について(更なる充実をめざして)-本多例会委員長  
※欠席のため峰事務局次長より  
11月~3月までを対象として設けた賞について再度説明。島原支部11月例会の出席率、ゲスト参加数を報告。他支部の奮起を祈念する旨報告

3) 中同協 主要行事の参加状況  
・第29回 社員教育活動全国研修交流会参加報告  
-事務局 田口主任より

※次回開催 2020年1月8日(水) 19時 つくば倶楽部

## 会員動向

### ●企業住所等変更

#### 服部 雅樹 会員 (大村支部)

新住所: 〒856-0023 大村市上諏訪町1142-1 新TEL番号: 0957-54-5787

#### 楠田 喜隆 会員 (島原支部)

新会社名: (株)雲仙きのこ本舗 新役職: 常務取締役  
新住所: 〒859-2203 南島原市有家町尾上3147 新TEL番号: 0957-82-0011  
新FAX番号: 0957-82-0030 新業種: きのこと類栽培、麺加工・製造販売

#### 松尾 忠昭 会員 (佐世保支部) 丸田 敦史 会員 (佐世保支部)

新役職: 代表取締役 新役職: 代表取締役社長

### 会員数 (12月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	134	130	125	100	90	200	45	38	900
期首	113	112	97	91	68	181	42	31	735
現在	110	114	100	87	68	182	38	31	730

#### 渡邊 享介 会員 (諫早支部)

新住所: 〒859-0401 諫早市多良見町化屋1812 北島ビル203

#### 退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
辻 正 仁	和洋ダイニング 喜一	長崎浦上	2016年12月
北島 美智子	kikitto	諫 早	2015年 4月
東ジェニファーム	K	諫 早	2017年 9月
藤原 貞明	諫早観光ホテル 道具屋	諫 早	2009年 4月
中原 均	(一社)西日本福祉会	佐世保	2019年 3月
大村 謙吾	農業法人(株)きのこ屋	北松浦	2001年11月
吉永 満也	(株)絆プレジャーグループ	北松浦	2009年 6月
辻 千穂子	(有)五島観光タクシー	五 島	2013年10月
増山 勲次	Gクレスト	五 島	2013年10月

# 1月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

## ●長崎浦上支部

日 時 1月28日(火) 18:30～21:00  
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア  
テ ー マ 本当に言葉や気持ち心は相手に伝わっていますか？  
報 告 者 (株)マツモト 代表取締役  
松本 一孝 会員

伝達力をテーマにゲームをしながら自分の伝達力の癖を知る。

## ●長崎出島支部

日 時 1月21日(火) 18:00～20:30  
会 場 ホテルニュー長崎  
テ ー マ 長崎市の中小企業制度を自社に活かそう！(中小企業振興条例制定を目指して)  
報 告 者 長崎市役所商工部(予定)

現在の長崎市が行っている中小企業振興対策の制度について、長崎市商工部の皆様をお迎えし数多くの制度や政策を学び、明日からの自社の経営に活かしていく。また、その制度のあり方や仕組み、それ自体をグループディスカッションし意見交換する中で、いま目指している「長崎市中小企業振興基本条例」には何が必要かを考えるきっかけづくりをするとともにこの運動についての内外における理解と拡充を目指す。

## ●大村支部

日 時 1月23日(木) 18:30～21:00  
会 場 長崎インターナショナルホテル  
内 容 慶祝例会

還暦・厄入り厄払い対象者への記念品の贈呈。新年最初の例会という事で、会員相互の志気が上がる例会とするために、各人1年間の目標・決意を色紙に書いてもらい発表していただく。また、懇親会を通じて会員相互の親睦をはかる。

## ●諫早支部

日 時 1月23日(木) 18:30～21:00  
会 場 ホテルフラッグス諫早  
テ ー マ 中小企業家「まちづくり」サミット  
報 告 者 (株)大幸企画 代表取締役  
時 忠之 会員(県政策委員長・大村支部)

意味のある「まちづくり」のために、諫早に何ができれば良いのか？市民と経営者がどうすれば良いのか？模擬サミットから学ぶ、バーチャル振興会議の開催！

## ●島原支部

日 時 1月23日(木) 19:00～21:15  
会 場 HOTELシーサイド島原  
テ ー マ (仮)『選ばれる企業づくり』の実践  
報 告 者 (株)LTU 取締役 総務部部长  
野方 康平 会員(諫早支部)

## ●佐世保支部

日 時 1月21日(火) 18:30～21:00  
会 場 魚魚の宿  
内 容 慶祝例会

## ●北松浦支部

日 時 1月21日(火) 19:00～21:00  
会 場 松浦シティホテル  
内 容 調整中

新年を新たに結束を図る。

## ●五島支部

日 時 1月24日(金) 18:30～21:00  
会 場 福江文化会館  
テ ー マ 調整中  
報 告 者 POLA AZ Bliss 代表者  
松井 幸子 会員

## ●青年経営者会

日 時 1月29日(水) 19:00～21:00  
会 場 長崎市民会館 アマランス  
報 告 者 瀧村俊介税理士事務所 所長  
瀧村 俊介 会員

## 投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどを紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



## 折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月20日～月末に行います。支部指定も出来ます。

**A4チラシ1枚5円**です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。